

世紀を超えて――

「歩きはじめてた21世紀」

Harmony
Through the century ...
Into the 21st Century



Tokoname city guide

常滑市
市勢要覧

2001

未来を創る。明日を創る。

Planning tomorrow - Creating the future

交流新時代として捉えた21世紀が、いよいよ歩き始めました。

市民一人ひとりの“幸せ暮らし”を見つめた未来への

ゲートウェイとしての「とこなめ21世紀計画」が、

いま新世紀のステージで奏でるのはプレリュード（前奏曲）。

常滑らしさを生かしつつ、活力と潤いのあるまちづくりを進め、

魅力的で感動に出会える「小さな世界都市」の実現という、

市民一体となつてのシンフォニー（交響曲）へと結実することを誓って。

常滑の21世紀は、ハーモニー（調和）からの出発です。



常滑市長
Mayor of Tokoname

石橋 誠晃
Seiko Ishibashi

ごあいさつ

21世紀の幕が切って落とされ、私たちは新しい世紀のスタートラインに立つことになりました。

本市においては、2005年3月開港を目指す中部国際空港の建設が、本市沖合海上において着実に進められ、それに関連するインフラの整備も同時に行われております。

空港開港によって、国際ハブ空港の拠点として、交流新時代に相応しいまちの創造に力を注ぎ、さらには空港開港のインパクトが全市民にとって有益であることはもとより、周辺自治体とも連携を図り、広域的な産業・経済の進展に努力したいと考えます。

世界に向けて大きく変化をとげる常滑と、1,000年にも及ぶ長い歴史をもつ伝統産業“常滑焼”に代表される常滑が互いに共生し、調和を図りながら発展することを目指し、ここに要覧としてまとめましたので、ご高覧いただき、御理解をいただければ幸甚に存じます。

The 21st Century as a new era of change has finally begun ...
"The Tokoname 21st Century Project" ... an introduction to the
future ... focuses on a "Happy Life" for every citizen and is the
prelude to the new century.
Together with our citizens, we will create an attractive and
prosperous international city.

For Tokoname, the 21st century begins with unity.



Message from the Mayor

The 21st Century has begun and we are standing at the starting line.
Central Japan International Airport, opening March 2005, is presently being constructed
offshore, as well as preparation for its related infrastructure.

We will create a suitable city for the new era with one of the largest international
airports. Tokoname will become the heart of this developing worldwide industry and local
economy for Tokoname.

The international Tokoname as well as the 1,000 year-old Tokoname with its history of
traditional ceramics, are living together and aiming for a harmonious future.

I hope this guide book will be useful for your understanding of our City.

〔目次〕 CONTENTS

新世紀対談 今、豊かな感性が求められる時代。 争曲演奏家 八木美知依 & 常滑市長 石橋誠晃	
THOUGHTS FOR THE NEW CENTURY	3
常滑探訪 TOKONAME OBSERVATIONS	
郷土・史跡 Local Spots・Historic Sites	8
わがまち情報 ～行ってみよう、見てみよう～ CITY INFORMATION - Let's go! Let's see! -	
常滑焼を知る・歳時記・自然を知る Tokoname Ceramics・Yearly Calender・Feel the Nature	13
公共施設マップ MAP OF THE PUBLIC FACILITIES	23
常滑の産業 TOKONAME'S INDUSTRY	25
みんなで創ろう、未来の常滑 LET'S CREATE THE FUTURE OF TOKONAME!	
〔健康・医療・福祉〕 Health・Medical Treatment・Welfare 安らぎと思いやりのあるまちづくり	29
〔環境・都市整備〕 Environment・Urban Development 安全でうるおいのあるまちづくり	30
〔都市基盤〕 Urban Infrastructure 快適で魅力のあるまちづくり	31
〔産業・観光〕 Industry・Sightseeing 活力とにぎわいのあるまちづくり	32
〔教育・文化〕 Education・Culture 豊かな文化と生きがいのあるまちづくり	33
〔地域・国際化〕 Region・Internationalization 誇りとふれあいのあるまちづくり	34
とこなめ21世紀計画 A 21st CENTURY PROJECT FOR TOKONAME	
明日をひらくリーディング・プロジェクト Our Lead Project to Open the Window of Tomorrow	35
中部国際空港 CENTRAL JAPAN INTERNATIONAL AIRPORT	37
行政・議会 ADMINISTRATION・ASSEMBLY	39
常滑市のあゆみ A BRIEF HISTORY OF TOKONAME	41
市の木・市の花、市章 CITY TREE・CITY FLOWER・CITY SYMBOL	43
常滑の歌・名誉市民 SONG FOR TOKONAME・HONOR CITIZENS	44

新世紀対談

Thoughts for the New Century



We asked Ms. Michiyo Yagi, world renowned Koto player, born in Tokoname, to talk about "Tokoname in the World" from her point of view through music.

Guest : Ms. Michiyo Yagi (Koto Player)
Host : Seiko Ishibashi (Mayor of Tokoname)
Location : The Takita Family
- old shipping dealer
(Sakae-machi, Tokoname)

Now is the time for great awareness.

今、豊かな感性が求められる時代。^{と き}

常滑市出身で箏曲演奏家の八木美知依さんをお招きして、
世界を舞台に演奏活動が続ける立場から、
音楽文化を通して彼女の目にうつる世界の中の「とこなめ」について、
その思いを対談で語っていただきました。



ゲスト：
八木 美知依【箏曲演奏家】
ホスト：
石橋 誠晃【常滑市長】
ロケ地：
廻船問屋 **瀧田家**※1【常滑市栄町】

海に代表される、 豊かな自然を大切に守りたい。

"I want to protect our rich natural resources, such as the sea," Mayor Ishibashi said.

市長／八木さんは常滑市内の北条で生まれ、お育ちになったと聞いていますが……。

八木／はい。この瀧田家の辺りは通学路で毎日学校に通っていたところです。途中でかくれんぼなどをして……。土管などがあるのがあたりまえで、特別な土地に生まれたという感情がまったくなかったのですが、今、東京に暮らしていて、土がなく、コンクリートで固められた運動場などを見ますと、常滑に生まれてよかったとつくづく思っています。

市長／私は、子供のころは、この辺りはあまり来たことがなかったのですが、海岸線はよく通ったんですよ。

八木／どんなことをしていらしたのですか？

市長／家が酒屋だったものですから酒を仕入れるために、古場だとか小鈴谷を、リヤカーに乗せてもらってよく通りました。そして海岸で弁当を食べるのがとても楽しみでした。

八木／お弁当の内容はどんなものでしたか？

市長／にぎりめし……。笑）それはおいしかったですよ。海を見ながら食べるのはね。

八木／そのころの常滑の海はどんなでしたか？

市長／きれいな海でしたよ。透き通った海水で、海の底の貝がらもよく見えました。そういったいいイメージもあり、海岸のある常滑のまちが好きです。空港が建設されますが、自然も残したい、海岸線を大切にしていきたいと思っています。植樹もたくさんし、白砂青松の海岸を将来に残していきたい、そう思っています。

※1 江戸時代から廻船業を営んでいた瀧田家を保存したもの。瀧田家は常滑焼や近辺で醸造された味噌、たまり、酒などを江戸に運び、江戸からは醸造の原料となる米、大豆、小麦を運んでいた。
(平成12年4月開館 市指定有形文化財)



新世紀対談

Thoughts for the New Century

活かしたい、 地域の特性や個性。

I want to use our local talent.

市長／さて、八木さんは箏曲の演奏で世界各国の音楽フェスティバルに参加、出演されていると聞いていますが……。

八木／はい。50カ国くらいは行ったでしょう。演奏で行くと、ゆっくり滞在することは少ないのですが、1998年、フィンランドのクフモ国際音楽フェスティバル※2ではとてもすばらしい体験をしました。

クフモ市は夏になると人々が集まって来る、日本に例えると八ヶ岳のようなところで、毎年世界的な室内音楽のフェスティバルが開かれています。

スタッフは全員ボランティアで、おばあさんがクッキーを焼いてふるまったり。ヨーロッパに散らばっているクフモ市出身の人々もその時期になると帰ってきて、お手伝いをしています。その土地を愛し、活性化しようという思いが、日本から行った私にも伝わって、とても感動しました。

市長／日本で言うと、地域に根差した大きなお祭りですね。

八木／はい。会場も室内楽用のコンサートホールではなく、学校や公民館などで、市全体でプログラムを出しているような心温まる大きなフェスティバルでした。

市長／それはすごいですね。「世界に開かれた生活文化都市」をめざす常滑市としても、ひとつの参考にさせていただきます。



これまでも、そしてこれからも、 常滑は人情味あふれるまち。

Tokanabe is a city which always has and always will be filled with human warmth.

市長／八木さんは演奏活動を通していろいろな体験をされていらっしゃるわけですが、世界からみて、故郷常滑をどう思われますか？

八木／私は、常滑びいきで、ニューヨークでも“日本のセラミックで有名なまち”の出身だと、片言の英語で常滑の宣伝をしています。芸術的で誇り高いまちとして、もっと伸びていってほしいと思っています。

それから、昔から住んでいらっしゃる方はとても親切で、ときにはおせっかいと思うときもあるくらい心温かい人々に囲まれ、ありがたいことだと感謝しています。

市長／おせっかいととるか、親切ととるか、とり方で違ってきますね。私は、お互いがお互いを思いやるまち、そういう意味で、常滑はとてもいいまちだと思います。



八木美知依
Michiyo Yagi

愛知県常滑市生まれ。箏曲演奏家。
昭和58年 沢井箏曲院、倉内里仁師に師事。
昭和60年 沢井忠夫・一恵師の内弟子となる。
現在は、東京を拠点に国内外で演奏活動を行い、
その技量・表現力に対する国際的評価は高い。

ホームページ ● <http://www.japanimprov.com/myagi/>



石橋誠晃
Seiko Ishibashi

昭和11年5月13日 愛知県常滑市生まれ。
常滑市長。
法政大学法学部卒。
市長公室長、議会事務局長、消防長、助役を経て、
平成3年市長に当選。



※2 クフモ＝ロシア国境に近いフィンランドの地名
このフェスティバルに招待されたのは日本人で2人目

新世紀対談

Thoughts for the New Century

八木／2005年に空港が開港されると聞いていますが……？

市長／空港は空の玄関口として、人・物・情報が集まります。それを受け入れられる新しいまちと、やきものを中心とした歴史・伝統を大切に受け継ぐ古いまちが共存できる、そんなまちを目指していきたいと考えています。

八木／便利になると失うものもありますね。新しいものと古いものが共存するには、市民全体が強い意志を持たなければならないと思います。行政だけにまかせているわけではなく、市民が市民全体の問題として、とらえなければと考えています。

市長／おっしゃるとおりで、行政は基盤を作っていきますが、さらにそれが、効果的に進んでいくには市民の皆さんの力が必要です。市民と行政が連携して取り組んでいく、そうすればさらによいまちができていくと思います。

八木／難しいですね。

市長／難しいですが、そういうかたちができあがってしまえばやさしいことではないですかね。市民の意見は多様化してきています。多様化した意見をしぼり込んでいくには、何を後世に伝えていくか、あるいは後でやっておいでよかったと思えるものは何か、といったことが判断の目安になります。連携して取り組むというのは、どんな判断をしていくかを決めていくことから始まっていくと思います。

八木／いっしょに考えていくということですね。

市長／そういうことだと思います。

今日はどうもありがとうございました。これからのご活躍を期待しています。

八木／ありがとうございました。私も常滑の将来に期待しています。



21世紀のまち創りは、市民の総力で。

The city of the 21st century will be created with the energy of our entire community!

All of our citizens should have a strong determination to include both the new and the old and not leave it only to the administration ...we have to think of it as "our problem".

The administration can form a foundation but we need the power of our citizens for a sustained result....by working together, we can create a much better city.



Tokoname Observations

Local Spots · Historic Sites

常滑探訪

郷土・史跡

【探訪では、常滑を愛する2人の方に、
それぞれの目とおした常滑を紹介していただきます。】

In this part, two guests will introduce special features of
Tokoname from their point of view ...

ここ
常滑に生きる人々が

育んだ営みがいま新鮮な

感動を発信する。

〔郷土〕 杉江 恵子 / Keiko Sugie

〔史跡〕 吉田 弘 / Hiroshi Yoshida

常滑探訪

郷土・史跡

L O C A L S P O T S

常滑の街

「常滑郷土文化会つちのこ」の活動を通して、私は生まれ育ったこの街がとてもすばらしい街であることに気がきました。

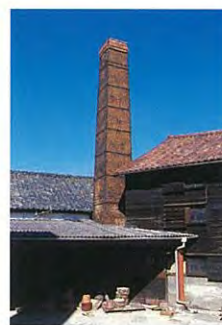
今回は、街の案内役ということですが、私のとっておきの常滑を紹介します。

この常滑の街では1,000年も前から、大きな瓶や壺などを造ってきました。そして、窯の火は絶えることなく今も灯されています。どうでしょう、1,000年も前からって、想像できますか？その当時は、船で全国各地に運ばれ、使われていました。甕や壺は、古くから人々が生活していく上での必需品でした。生活に根付いた焼き物づくりは、今でも継承されています。



高い煙突を持つ窯では土管や瓶など大きな焼き物が主に焼かれていました。そしてその土管や焼酎瓶を再利用した土留めや塀などが街中、至る所で見られ、独特な空間をつくっています。

土管坂
Doka-saka
(Clay pipe slope)



煉瓦煙突
Brick chimney

狛犬 (神明社)
Guardian dogs (Shinmei Shrine)



このあたり一帯は昭和49年にやきもの散歩道として整備され、最近では観光地として全国から大勢の人が訪れるようになってきました。例えば、私の住む家のすぐ近くにある神社の陶器製の狛犬は、とても大きくてすばらしいものです。常滑では、それらを陶器の彫刻ということで、陶彫と呼んでいます。明治時代に西洋の彫刻技法を取り入れて造られるようになり、それらは今も街のあちこちで見ることができます。

Keiko Sugie (guide)

Through the activities of "Tokoname Local Culture Group, Tsuchinoko", I have noticed that our city has preserved a lot of interesting things.

Large jars and pots have been made for 1,000 years in Tokoname and the flames of kilns have never stopped.

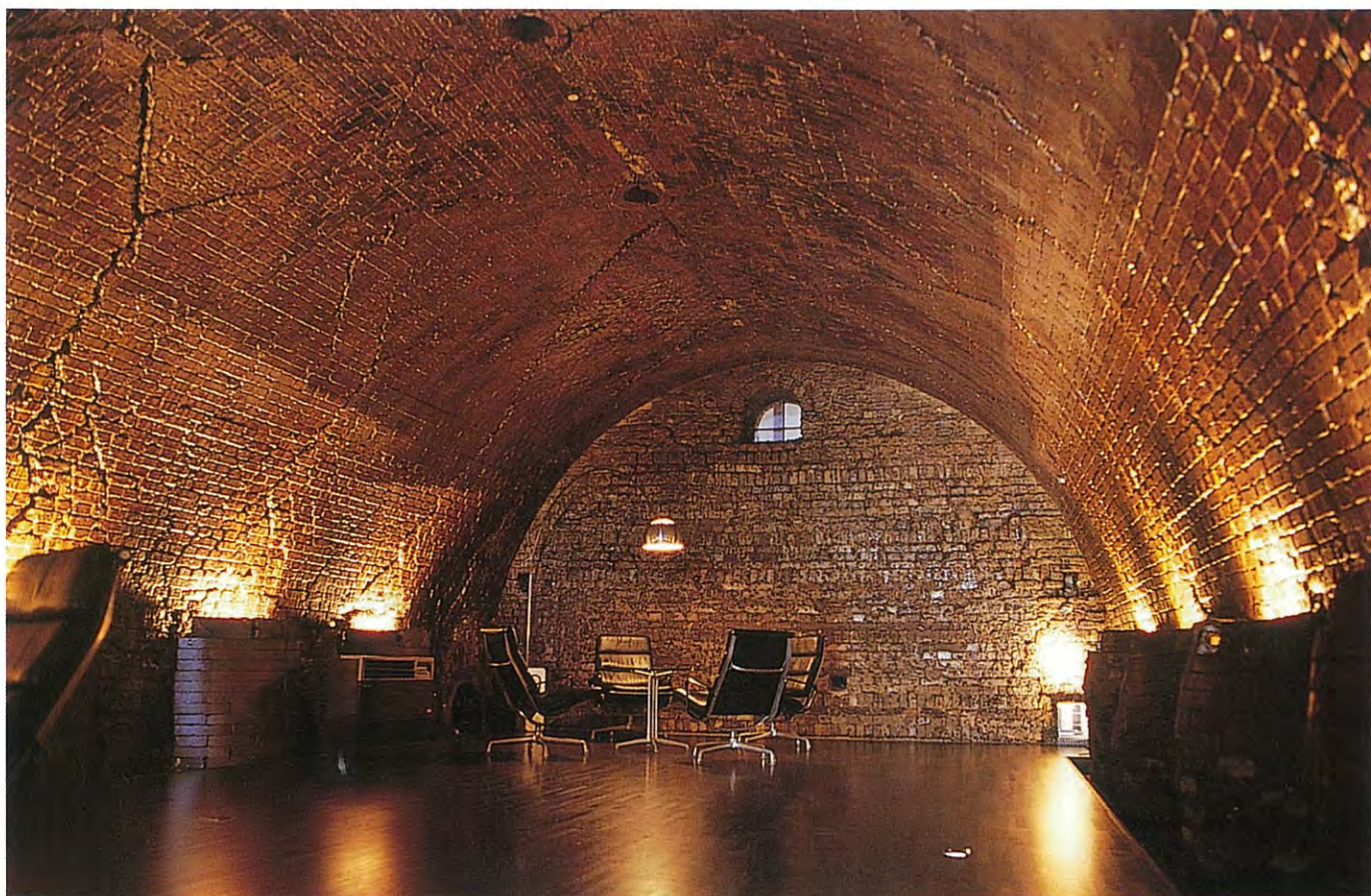
In old days, jars and pots were shipped and used all over Japan. They have been the necessities of life since then.

Making pottery is deeply rooted here.



電解槽の土留め
Retaining wall of tubs that were once used as insulators for electrical process

私が幼い時を過ごした昭和20年代、30年代は、高くそびえる煉瓦煙突からは石炭を焚く真っ黒な煙が吐き出されていました。今では、数が少なくなった煉瓦の煙突ですが、最盛期には300本以上もあったということです。



INAX窯のある広場・資料館
INAX Kamano-aruru-hiroba/Museum

私の実家は、大正時代より火鉢を造る窯屋で、両親や伯父たちが毎日汗を流し一生懸命、純朴に働いていました。特に窯焚きは重労働で、二昼夜にわたって石炭を焚いている姿は忘れることができません。

若い頃の私は、この街の伝統が重く感じられ良さがわからず興味もわきませんでした。しかし、結婚後ふと公民館の自主グループ「常滑郷土文化会つちのこ」に入会し、お年寄りからいろいろとお話を聞くうちに、その歴史の深さや独自性、そして何より、ここで生きてきた人々の様々な思いや行動、

そういったものが肌で感じられ、すっかりこの街を再認識するようになったのです。先人の仕事の手の跡に囲まれて日々生活し、この無数の焼き物たちが私たちを見守ってくれているような気がして、今ではとても感謝しています。私が感じたようにより多くの人々が、この街の魅力に気づいてくれるように今後も活動を続け、次の世代に伝えていき、新しい街づくりにつなげていきたいと思っています。

素朴、純朴、そんな言葉がびったりの街、私はそんな常滑が大好きです。



杉江 恵子
Keiko Sugie
(Guide)

昭和23年常滑市に生まれる。
生家は3代続く窯屋。主に火鉢を生産。
金城学院短期大学国文専攻を卒業。

昭和62年より自主グループ常滑郷土文化会つちのこを結成。
現在、会長。毎月機関紙「つちのこだより」を発行。
毎年企画写真展を行い、冊子、マップなどを制作し郷土の歴史や文化の掘り起こしに努める。
平成11年度には地元ケーブルテレビとともにテレビ番組「常滑歴史発見」をシリーズで12本制作。
郷土の魅力づくりや常滑の街のPR活動を続ける。

常滑探訪

郷土・史跡

HISTORIC SITES



変わりゆく常滑、変わらない常滑。

常滑の地は、石瀬貝塚が示す縄文時代からの歴史があります。奈良時代には、海岸で塩を作り、大野谷には条里の遺構も残されています。平安時代末からは丘陵地帯で窯業生産も行われ、製品は船で全国に輸送されました。室町時代には、水野氏や佐治氏ら戦国武将により、連歌や茶の湯など都の文化も取り入れた町づくりも行われ、その当時から常滑は、東西交通の要衝の地として全国に開かれたところだったのです。

いま建設中の中部国際空港は、常滑の歴史的基盤の上に新たな歴史を刻もうとしています。よりグローバルな交流の中で、世界に開かれた生活文化都市として。

鈴溪資料館 常滑市小鈴谷字亀井戸 Reikei Archive



鈴溪資料館は昭和53年に鈴溪学術財団により建てられたものです。小鈴谷の盛田家に伝来した江戸初期から、明治末年に至る数万点の古文書が保存されています。

盛田家は江戸時代を通して醸造業を営むかたわら小鈴谷村の庄屋を務めていましたので、村の執務に係る文書と、家と経営に係る文書が保存されています。

文書がこのような多量に保存されているのは極めて稀で、郷土の、ひいてはわが国の400年にわたる歴史のあゆみを明らかにする貴重な資料です。



史跡案内人 吉田 弘
Hiroshi Yoshida
(Guide)

昭和9年常滑市に生まれる。
愛知学芸大学卒業後、知多地方の小中学校に勤め、
教材研究を兼ねて、郷土の歴史・民話・文学の研究を行う。

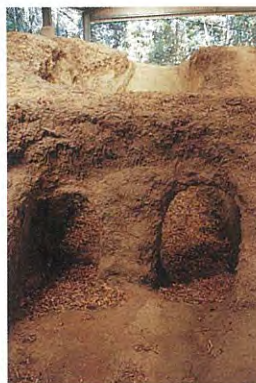
著書に
「知多のむかし話」
「愛知の文学碑」
「常滑焼の開拓者・鯉江方寿の生涯」
「常滑の城」
など、郷土に関するもの多数。
昭和54年、第12回新美南吉文学賞受賞。

現在、常滑から月刊作句雑誌「自然（しぜん）」を
発行、主宰する俳人としても活躍中。

Hiroschi Yoshida (guide)

The age of the Ishise Shell Mound indicates that Tokoname has been in existence since the Jomon Period (B.C.). Salt was produced on the shore in the 8th Century and remnants of an old building of this period remain in Ohnotani.

The Ceramic Industry started along the hillside in the early 12th century and the products were shipped all over Japan. In the 15th Century, General Mizuno and General Saji tried to create a town featuring cultures such as Renka (Japanese Poetry), Chanoyu (Tea Ceremony), etc. In those days, Tokoname was known all over Japan as an important route of East - West Transportation.



竈池古窯 常滑市久米字竈池 Kagoike Ancient Kiln

愛知県の指定有形文化財となっている史跡です。常滑の北東部の山中（丘陵部）にあります。

昭和34年、愛知用水工事に関連して発掘され、覆いをつけて現状保存されています。写真の窯は、長さ11.35m、幅2.8mで、煙道・天井などを除いて、焚き口の分煙柱などの形もよく残っております。遺物から推定して、大形甕を主体として、短頸壺・山茶碗などが焼かれた、平安時代末期のものと思われます。このころは、知多丘陵の広い範囲で窯がつくられていましたが、海岸に港に近い現常滑窯業地帯に下りてきて、集約化されるのは、室町時代から安土・桃山時代と思われます。

鯉江方寿陶像 常滑市瀬木町天神山

Ceramic Statue of Hoju Koie, the founder of ceramic production in Tokoname

19世紀始め、初代伊奈長三・赤井陶然・上村白鷗・杉江寿門そして鯉江方寿などは、常滑焼の発展に大きく貢献しました。特に、鯉江方寿は、真焼土管を創始、土管の大量生産を成功させ、日本の鉄道敷設に寄与し、常滑陶業を大いに振興させた人です。

この陶像は、高さ2.6m、台座6.6mという大きなもので、大正2年7月、平野六郎氏・助手井上節三氏によって製作されました。

天神山は、近世、窯のあったところで、白鷗や寿門の顕彰碑も建っています。



経石塔 常滑市新田町 Kyoseki Pagoda (Stones carved with religious messages)

江戸時代、海に堤防を築いて海水を汲み出し、新田をつくっていったとき、折角築いた堤防が大波で決壊することがありました。補修するとき、もう二度と切れないようにと、石にお経の文字を一字ずつ書いた経石を根石として埋めることが行われました。そして、目印に石碑を建てたのが「経石塔」です。写真左の石には、奉書写法華経塔 安永五年春三月と、右には、大乘妙典一字一石塔 安政六年と刻まれており、海水とたたかって土地を拓けていった先人の努力の跡を今に伝え、市の文化財指定史跡となっています。

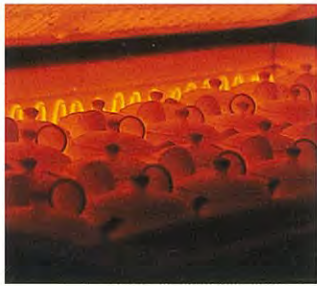
この経石塔の近くの堤防道路に砂防林・防風林として植えた黒松の並木も残っていて、市の天然記念物の指定を受けています。

大野城址 常滑市金山字城山、城山公園 The ruins of Ohno Castle (Shiroyama Park)

室町時代、一色氏が伊勢湾に臨む山の上に城を築き、その後を受けて佐治氏が城主となりました。織田信長は、伊勢湾の制海権を握る佐治氏とのきずなを強めるために、自分の妹お犬を佐治八郎信方に嫁がせました。しかし、八郎信方は信長の下で長島一向一揆を攻める時に討死、その子、佐治与九郎一成が城主となり、大野水軍を率いる総大将となりました。そこへ嫁いできたのが、信長の妹お市と柴田勝家の末娘小督です。小督は、後、徳川二代將軍秀忠に嫁ぎ、三代將軍家光を生んだ人です。

伊勢湾を見下ろす城址からは、ほら、あそこ中部国際空港建設現場を見下ろすことができますよ。





常滑焼を知る
Tokoname Ceramics



わがまち情報

—— 行ってみよう、見てみよう ——

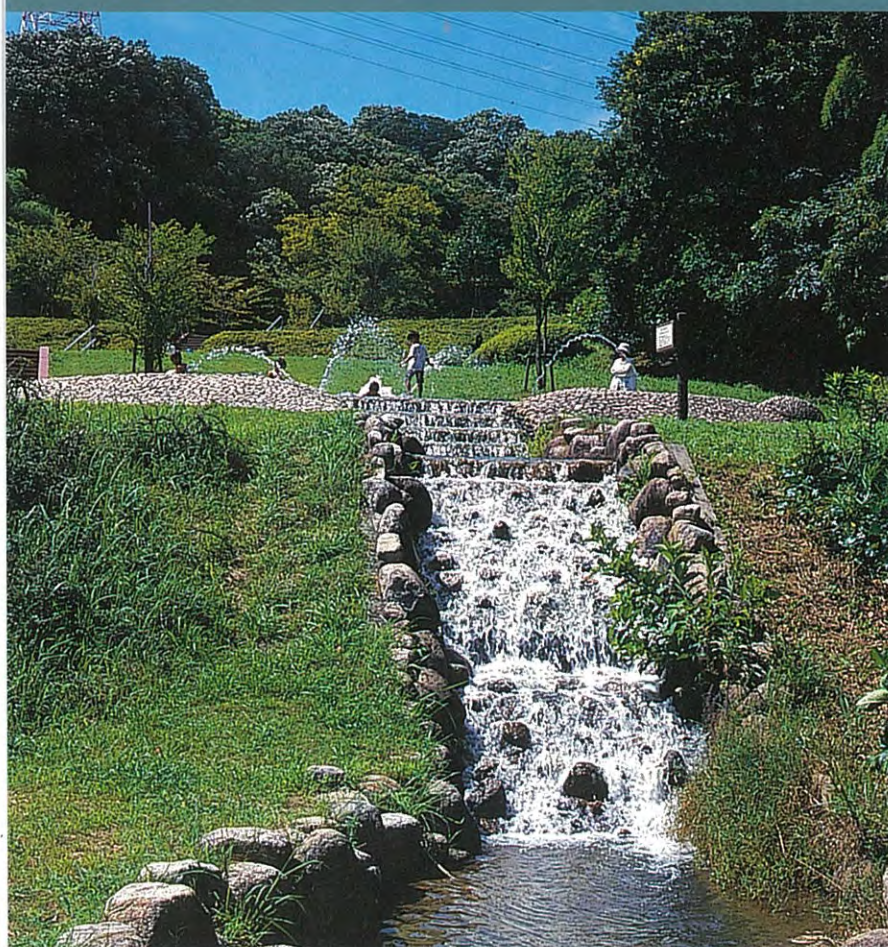
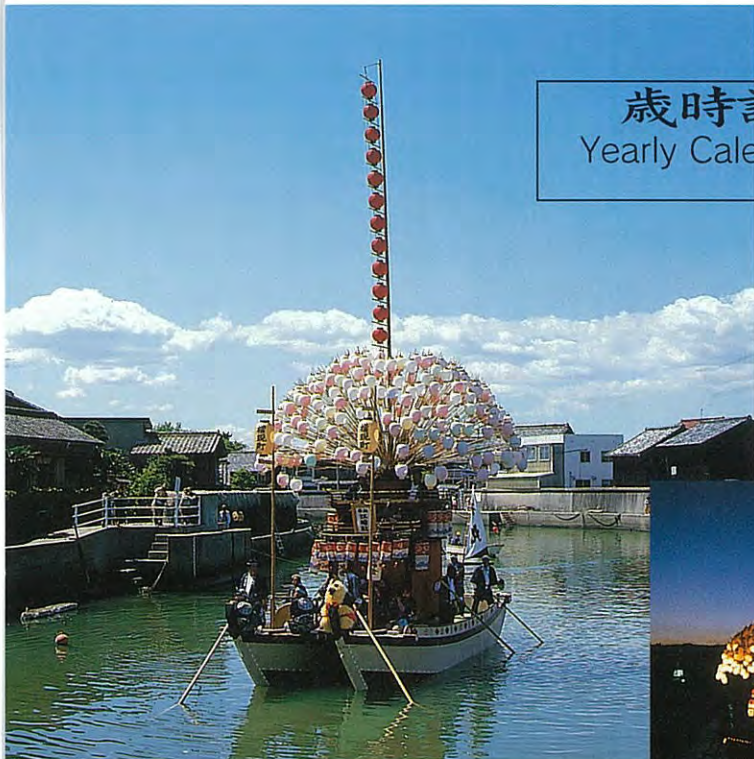
CITY
INFORMATION

常滑焼
歳時記
自然

自然を知る
Feel the Nature



歳時記 Yearly Calender



伝統

それは受け継ぐものではなく、
積み重ねるもの。

平成10年6月「常滑焼(急須)」が、国の重要無形文化財の指定を受け、その技術保持者、いわゆる「人間国宝」に常滑の陶芸家・三代山田常山氏が認定された。



In June 1998, "Tokoname pottery" was designated as an important cultural asset. Jozan Yamada III was also designated as a living national treasure due to his amazing technical abilities.

常滑焼にふれ、土の温もりを感じるには、やきもの散歩道を散策するのが一番です。1,000年の歴史をもつ常滑焼は、私たちの誇り。でも肩肘張ることはありません。さあ、リュックを背負って気楽に歩いてみて下さい。懐かしい風景が、そこかしこに残されています。何に目をとめ何を思うかはあなた次第。

One of the ways to get in touch with the warmth and feel of Tokoname ceramics is to walk the Yakimono Sanpomichi (Pottery Path). We are very proud of our Tokoname Ceramics with its 1,000 year history and we invite you to enjoy the lovely old scenes remaining here. You will probably find things of great interest to you.



とこなめ焼
卸団地
「セラモール」
Ceramall
(retail outlets)



常滑市陶磁器会館
Tokoname
Ceramic Hall



廻船問屋 瀧田家 The Takita family (Old shipping dealer)



土管坂 Dokan-saka (Clay pipe slope)



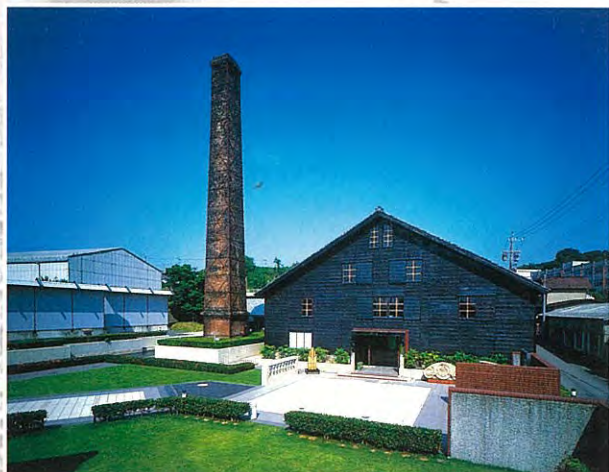
登窯広場 Noborigama Square



登窯
Noborigama
(Multi-level kiln)

- ① 常滑市陶磁器会館 Ceramic Hall
- ② 廻船問屋 瀧田家 The Takita Family (Old shipping dealer)
- ③ 土管坂 Dokan-saka (Clay pipe slope)
- ④ 登窯広場 Noborigama Square
- ⑤ 登窯 Noborigama (Multi-level kiln)
- ⑥ 常滑市民俗資料館 City Folk Museum
- ⑦ 常滑市立陶芸研究所 Ceramic Art Institute
- ⑧ INAX窯のある広場・資料館 INAX Kamano-arū-hiroba/Museum
- ⑨ INAX世界のタイル博物館 INAX Tile Museum

常滑焼を知る Tokoname Ceramics



INAX窯のある広場・資料館 INAX Kamano-aru-hiroba/Museum



INAX世界のタイル博物館 INAX Tile Museum





mid March
Taga jinjya festival
end March to end August
Clam digging
end March to early May
Local festivals
mid May
Shibafunegongen festival
end June
Mushi-okuri
(an annual event for ridding
harmful insects)
end June to end August
Sea bathing
early July
Hama festival
July 3rd Sun
Tenno festival
early August
Ryujin festival
end August
Tokoname ceramic festival
September 15th
Aomine festival
mid October
Sampomichi festival
mid November
Agricultural festival
December 15th to January
Mushi-kuyo
(a follow-up event of Mushiokuri)

白露—Hakuro
秋分—Syūbun
寒露—Kanro
霜降—Sōko
立冬—Ritō
小雪—Syōsetsu
大雪—Daisetsu
冬至—Tōji
小寒—Syōkan
大寒—Daikan
立春—Risshun
雨水—Usui

十二月十五日～一月
虫供養：今から一〇〇年
程前から始まったと言わ
れ、農作物を守るために殺
生した虫を供養する。
〔大野他各地区〕
〔県指定無形民俗文化財〕

九月十五日
青峰祭：魚を供養する祭り。餅投げがあり、
この日、漁船は大漁旗を飾る。
〔蒲池・松仙寺〕
十月中旬
やきもの散歩道フェスティバル
十一月三日 常滑市文化祭〔常滑市〕
十一月三日 長三賞陶業展〔常滑市〕
十一月中旬
農業まつり：農産物品評会、即売市が行われる。
〔あいち知多農協本部〕



虫送り（稲の害虫を追い払う民俗行事）
Mushi-okuri (an annual event for ridding harmful insects)



常滑市文化祭 Tokoname City Cultural Festival



二十四節気

(常滑を彩る二十四の季節)

歴史とロマンに満ちた常滑。
それぞれの地区に伝わる行事が、
季節ごとに美しく装いを変えて見る者を魅了する。

芒種 — Bōshū
夏至 — Geshi
小暑 — Syōsyo
大暑 — Taisyo
立秋 — Rissyu
処暑 — Syosyo

啓蟄 — Keichitsu
春分 — Syunbun
清明 — Seimei
穀雨 — Kokuu
立夏 — Rikka
小満 — Syōman

歳時記 Yearly Calender

Tokoname is filled with interesting historical stories. Traditional events in each area fascinate visitors by providing a new look in every season.



大野地区祭礼 Ohno Festival

三月中旬 (第三日曜日)
多賀神社大祭：初午大祭。農耕の始まりの祭り。豊年祈願。〔刈屋〕
三月下旬
潮干狩り (三月下旬～八月下旬) 〔蒲池・大谷・小鈴谷・坂井〕
四月上旬
春祭り：〔多屋・大谷・小鈴谷・坂井〕
四月中旬
春祭り：〔矢田・久米・北条・瀬木・奥条・市場・山方・保示〕
四月下旬
春祭り：〔小倉・西之口〕
五月上旬
春祭り：〔大野〕
五月中旬
柴船権現祭：柴船権現様を奉る、徳川家康が伊勢より上陸した記念の日。〔市場〕

六月下旬
海水浴 (六月末～八月末)：〔大野・坂井〕
虫送り：松明の火で水田の害虫を焼き、豊作を祈る。〔矢田八幡社・矢田川沿〕〔県指定無形民俗文化財〕
七月上旬
浜まつり：大漁と安全祈願。〔保示〕
七月中旬 (第三日曜日)
天王まつり：笹提灯がとまり、花火が打ち上がります。〔瀬木〕
八月上旬
龍神祭：戦国時代活躍した大野水軍の霊をまつる。
龍神船や万灯流しがみもの。
〔大野・矢田川〕
八月中旬
市民盆踊りの夕べ〔常滑市〕
八月下旬
常滑焼まつり：常滑焼の大即売市。〔常滑競艇場内他〕



常滑焼まつり
Tokoname Ceramic Festival

♪見よ昼の海、見よ常滑の海。



Tokoname faces Ise Bay in the West and is naturally enhanced by the long seashore running 16 kilometers from North to South.

The Sea of Tokoname is popular for swimming, clam digging, fishing, yachting, and wind-surfing. Taya Beach is most famous. You will find the seaside plants and Japanese sago palms on the wide sand beach. In addition, there is Ohno Beach, the oldest bathing beach in the world. Sakai Beach is a long shallow beach and Ohtani Beach has a beautiful view of the cliffs and the sand.

With the cross winds, the sound of the sea, the calm and the sunset on these beaches, you will see many beautiful scenes throughout the four seasons.

常滑市は、西部を伊勢湾に面し、南北16kmという長い海岸に恵まれています。常滑の海は、海水浴、潮干狩り、釣り、ヨット、ウィンドサーフィンなど大変にぎやかです。

その代表が多屋海岸。松並木の小径を通り抜けると、視界は一気に広がり、それと同時に、ふりそそぐ太陽の光を受けてキラキラ輝く水面が目にとびこんできます。広い砂浜では、自生する海浜植物やソテツも観察できます。また、世界最古の海水浴場といわれる大野海岸、遠浅に恵まれた坂井海岸、さらに断崖と砂浜が作る景観が美しい大谷海岸などがあります。



渡る風、潮騒、風、そして沈む夕陽。海は季節によって、利用の仕方によって、さまざまな表情を見せてくれます。

自然を知る Feel the Nature

【海岸・港】 Beach-Harbor

多屋海岸の海浜植物 Seaside plants on Taya Beach



坂井海岸
Sakai Beach

遠浅で、3月中旬～8月下旬にかけて潮干狩りが楽しめます。アサリ・アオヤギ・マテガイ・ウンネなどが採取できます。



大谷海岸
Ohtani Beach

大野海岸
Ohno Beach

名古屋からも近いので人気があり、世界最古の海水浴場としても知られています。



美しい砂浜と長い海岸線、四季を通して様々な景色が見られます。



伊勢湾に沈む夕陽
Sunset (Ise Bay)

Seaside



鬼崎フィッシャリーナ
Onizaki Marina

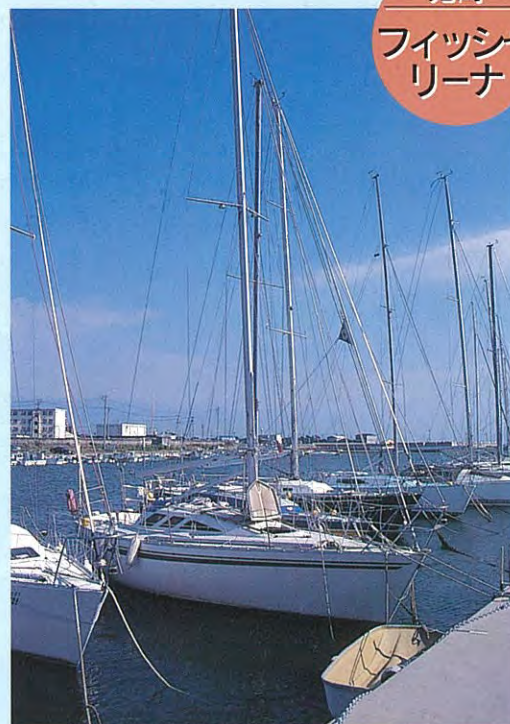
ヨット、ウィンドサーフィンなどマリンスポーツ好きな人の人気スポット。休日にはセーリングを楽しむ人々で賑わいます。

多屋海岸
Taya Beach

鬼崎とともにマリンスポーツ好きな人が集まります。海岸には美しい海浜植物が自生し、散策も楽しめます。



多屋海岸
Taya Beach



Onizaki Marina

鬼崎
フィッシャリーナ

公園は、自然が主役の舞台です。

Tokoname parks are nature on stage. Tokoname has many parks, big and small, filled with greenery where we experience nature in a peaceful setting.



私たちの心にうるおいと安らぎを与えてくれる緑。

その緑が豊かで、自然と最も身近に触れ合える場所が公園です。常滑市内には、大小さまざまな公園が点在しています。

公園内の木々や花は、季節ごとに色を変えて、訪れる人を飽きさせることなく、いつもやさしく迎えてくれます。植物が表情を変えれば、そこに棲む鳥や虫たちだって代わるがわる登場してきます。自然はいつ

も自分たちの役割を認識し、季節を舞台に、私たちにすばらしいドラマを演じてくれます。

それは、夢いっぱいの脚本で。



桧原公園 Hibara Park

公園内に生い茂る緑は、訪れる人に春夏秋冬、四季折々の変化を見せてくれます。メルヘン小径、ロマン小径は自然を生かした散策路。高木から低木まで多種の樹木があるので、野鳥や昆虫の生息密度が高いようです。チョウ類ではナミアゲハ・キチョウ・ヤマトシジミなど、トンボ類ではアオイトトンボ・マイコアカネ・カトリヤンマなどが確認されています。かきつばた園や桜並木もあり、森林浴や自然観察が楽しめます。山頂付近にある展望台は高さ約14メートル。最上階からは伊勢湾と三河湾の両湾が望めます。

みたけ公園 Mitake Park



春には桜の名所として知られ、展望台から見る満開の桜はみごとです。

常滑公園 Tokoname Park



伊勢湾を望む小高い丘の上にあります。体育館を中心としたスポーツゾーンと、カルチャーゾーンからなります。大きなオブジェがいくつも置かれ、緑とバランスよく配置されています。ここにあるオブジェは、見ごたえ充分。

公園は、
自然とふれあう場で
あると同時に、人との
出会いも与えてくれます。

朝、ジョギングに汗を流す人がいて、昼下がりには親子連れの遊ぶ姿があり、夕方、散歩を楽しむ人たちが集います。人と出会い、言葉を交わす、公園は大切な交流の場でもあるのです。

The parks also provide enjoyment and the opportunity to meet other people while experiencing nature.

城山公園 Shiroyama Park



城を型取った展望台。夕日は絶景。

大曽公園 Ohso Park



プールやテニスコート、野球場や競技場などのスポーツ施設を中心に、みどりの中を歩く散策路や展望台、芝生広場、木々に囲まれたキャンプ場、ポニーややぎに会えるミニ牧場などがあります。

自然を知る
Feel the Nature

【公園】 Park

Green

小脇公園 Kowaki Park



広々としたふれあい広場や、バーベキューハウス、喫茶・特産品コーナーなどがあり、日曜の朝には人気の朝市も開かれます。みどりの木々の間を、坂井海岸までのんびり歩くコースもあります。船の形をした展望台からは、伊勢湾が間近に見えます。

公共施設マップ

Map of the Public Facilities

Tokoname is located in the center of the west coast of Chita Peninsula, Aichi Prefecture and is naturally enhanced by its geographical location. Ise Bay supports the fishing industry. The flat land accommodates manufacturing and commerce, while the hillside is suitable for agriculture and the livestock industry. Tokoname has been a well-known Ceramic Center since ancient times starting in the 10th century.

常滑市



- 人口 51,393人 Population : 51,393
- 面積 48.59km² Area : 48.59 square kilometers
- 北緯 34度53分 North latitude : 34° 53'
- 東経 136度50分 East longitude : 136° 50'
- 東西 6.1km East to West : 6.1 kilometers
- 南北 16.0km South to North : 16.0 kilometers
- 平均気温 16.7℃ (平成11年) Average temperature : 16.7℃ (1999)

(平成13年1月1日現在) (as of January 1, 2001)

ハーモナイズド・シティ



常滑市



常滑市

常滑市は、愛知県知多半島の西海岸中央部にあります。

西は伊勢湾に面して平坦地が続き、東は半島の背骨ともいえる丘陵地帯になっています。

海岸沿いに市街地があり、伊勢湾は漁業に、平坦地は商工業に、そして丘陵地は農畜産業にと恵まれた地理的条件にあります。

古くから焼き物の産地として知られ、その歴史は平安時代から1,000年にも及びます。

市の生い立ち

本市は、昭和29年4月1日、常滑町、鬼崎町、西浦町、大野町および三和村の4町1村が合併して誕生しました。

その後、南部に隣接した小鈴谷町のうち、大谷、小鈴谷、広目および坂井の4地区が昭和32年3月31日に市域に加わり、現在に至ります。

(市外局番0569)

名 称	所 在 地	電 話
常滑市役所	新開町4-1	35-5111
青海連絡所	大塚町177	42-0142
鬼崎連絡所	神明町3-35	42-0475
南陵連絡所	苅屋字加茂30	35-2369
消防本部(署)	新開町5-11	35-0119
消防署北出張所	神明町3-40	42-0119
消防署南出張所	苅屋字加茂151	34-6119
市民病院	鯉江本町4-5	35-3170
保健センター	新開町5-62	34-7000
市営火葬場	字高坂23-35	34-3168
中部知多衛生組合	知多郡武豊町字壺町田90-10	72-0876
クリーンセンター常武	知多郡武豊町字壺町田27	72-0530
とこなめ競艇	新開町4-111	35-5211
物産情報センター	鯉江本町5-141	34-8888
廻船問屋 瀧田家	栄町4-75	36-2031
登窯広場	栄町6-145	35-0292
陶業試作訓練所	字飛渡28-1	35-3290
陶磁器会館	栄町3-8	35-2033
図書館	新開町1-104	35-2217
市民文化会館	新開町5-65	35-3111
青海公民館	大塚町177	43-6622
鬼崎公民館	神明町3-35	43-0660
中央公民館	新開町5-65	35-6311
南陵公民館	苅屋字加茂30	34-4748
陶芸研究所	奥条7-22	35-3970
民俗資料館	瀬木町4-203	34-5290
三和児童館	久米字西郷18	43-5537
大野児童センター	大野町6-36	42-0001
西之口児童館	西之口8-60	43-5721
明和児童館	明和町3-15	34-7210
常滑児童センター	瀬木町1-105	35-3666
唐崎児童館	唐崎町3-18	34-3115
西浦南児童館	古場町7-16-3	34-6940
小鈴谷児童館	大谷字松ヶ坪95-2	37-0623
千代ヶ丘学園	千代ヶ丘2-15	34-7211
大曾更生園	大曾町3-36	34-6585
梶間授産所	白山町3-24	35-6659
神明小規模授産所	神明町3-61	43-5722
千代ヶ丘小規模授産所	千代ヶ丘2-15	34-8417
厚生事業団	白山町3-24	34-5867
社会福祉協議会	本町2-237	34-4018
養護老人ホーム	金山字屋敷30-1	42-0771
訪問看護ステーション	新開町5-62	34-7005
シルバー人材センター	本町2-216	34-5125
在宅介護支援センター	字大窯114-2	35-5843

名 称	所 在 地	電 話
体育館	金山字下砂原78-1	43-5111
市民アリーナ	新開町1-100	35-4611
サザンアリーナ	苅屋字加茂30	34-4748
小脇公園	坂井字小脇10	37-1531
大曾公園管理事務所	大曾町6-3	35-2797
温水プール	大曾町6-3	35-0454
常滑警察署	新開町5-57	35-0110
愛知県常滑窯業技術センター	大曾町4-50	35-5151
常滑郵便局	栄町1-83	35-2453
常滑商工会議所	新開町5-58	34-3200
三和南保育園	金山字平井120	42-0774
三和西保育園	小倉町8-110	42-0769
青海保育園	金山字油手6	42-4333
大野保育園	大野町8-75	42-1400
鬼崎北保育園	住吉町5-36	42-0612
鬼崎中保育園	榎戸町1-106	42-0772
鬼崎西保育園	新田町2-18-3	43-4122
鬼崎南保育園	森西町1-55	35-2877
常滑北保育園	栄町6-224	35-2437
瀬木保育園	瀬木町2-94	35-2645
常石保育園	奥条7-36	35-4823
丸山保育園	山方町7-156	34-4114
西浦北保育園	樽水町4-78	35-3147
西浦中保育園	唐崎町3-18	35-3152
西浦南保育園	古場町3-89	35-4100
松原保育園(休園中)	松原字神水1-1	34-3117
小鈴谷北保育園	大谷字井戸尻13	37-0164
小鈴谷南保育園	坂井字中山25-2	37-0055
三和東幼稚園	矢田字東根組37	42-0143
常滑幼稚園	原松町2-193	35-2124
三和小学校	久米字諏訪山183	42-0749
大野小学校	大野町10-70	42-1011
鬼崎北小学校	住吉町2-56	42-0222
鬼崎南小学校	明和町2-47	35-2422
常滑西小学校	本町3-136	35-2104
常滑東小学校	瀬木町4-100	35-2428
西浦北小学校	井戸田町3-177	35-2164
西浦南小学校	古場字栗下前5	35-4002
小鈴谷小学校	大谷字井戸尻2-2	37-0021
青海中学校	金山字南平井13-1	42-0331
鬼崎中学校	港町3-1	42-0221
常滑中学校	字二ノ田16-14	35-2375
南陵中学校	苅屋町5-50	35-4005
常滑北高等学校	金山字四井池10	43-1151
常滑高等学校	奥栄町1-168	35-2132

農業

イチジクの収穫 Harvesting figs

■施策の基本方針

大都市近郊の立地特性を生かした都市型農業の振興を図るとともに、地域での農業振興の核となる個人、法人の育成、支援に努めます。

鶏卵のパッケージング
Egg processing

We promote the development of both urban and regional agriculture, based on our geographical location.

AGRICULTURE

漁業

SEA PRODUCTION

■施策の基本方針

限りある漁場を有効に活用し、漁場の整備開発や栽培漁業の推進など、生産性の高い振興策を推進します。

のり養殖 Nori(seaweed) culture farming



Our interest is in high productivity with the effective use of limited fishing, development of fish preparation and promotion of aquaculture.



製陶工場 Ceramic factory

工業

■施策の基本方針

生産活動の活性化に向けて、関係機関と連携のもと、中小企業の育成に努めます。

また、地場産業の高度化、本市の産業構造の複合化をめざし、工業用地の確保を図ります。

MANUFACTURING INDUSTRY



We encourage small business and their related groups by revitalizing and promoting local industries.



商業

■ 施策の基本方針

とこなめ焼卸団地 Ceramall (retail outlets)

時代に対応した商業の振興に努めながら、経営の安定を図ります。
商業・業務サービス機能の集積した中心市街地の形成をめざします。

The promotion of Tokoname-ware is of great importance. We support
retail stores to enhance keeping up with the times.



大規模小売店舗
A large scale retail store



みんなで創ろう、^{あす}未来の常滑

調和のとれた、まちであるために。

健康・医療・福祉

Health · Medical Treatment · Welfare

私たちがいつまでも健康で、幸せな生活を送るため、
安らぎと思いやりのあるまちづくりを進めます。

Tokoname is a caring and peaceful city of good health and happiness.

安らぎと思いやりのあるまちづくり

- 毎日を心身ともに健康で暮らすことは、私たち共通の願いです。私たち一人ひとりの健康に対する自主的な努力を踏まえながら、健康づくりへの支援や健康診断などを拡充するとともに、いつでも安心して医療サービスが受けられるよう、拠点施設を整備します。
- 福祉社会の形成をめざし、各種福祉サービス機能を確保するため、総合的な拠点施設を整備します。
- 高齢者に対しては、地域での生きがい活動や援助システムを確立し、ニーズにあった在宅福祉サービスを拡充します。
- 次代を担う子どもたちが、健やかに生まれ育つため、保育をはじめとした環境づくりを推進します。
- 障害者が生活上の困難を克服し、共に生活できるよう、心の通いあう社会をめざします。



①

- ① 市老連ゲートボール大会
Japanese Croquet Tournament for Senior Citizens
- ② 3歳児健診 Health check for 3-year-old children
- ③ 高度医療機器 High tech medical appliances
- ④ 元気な子どもたち Healthy children
- ⑤ デイサービス Day service for the elderly



②



③



④



⑤

私たちが安心して快適に生活を送るため、
環境と調和した安全でうるおいのあるまちづくりを進めます。

It is also a safe and prosperous city with an environment which will assure life without anxiety.

- 豊かな自然は、生活にうるおいと安らぎを与えてくれます。まちの緑と水辺を私たちの共有の財産として保全するとともに、公園や街並みなどでの緑化を推進します。また、長い海岸線を有するまちの特性を生かし、大規模な臨海公園やマリーナなどを関係機関とともに整備します。
- やきもの散歩道周辺などの情緒豊かな空間や個性ある街並みを保全するとともに、美しい都市景観の形成をめざします。
- 都市化の進展により、都市・生活型公害の増大が予想されます。私たちの良好な生活環境を確保するため、ごみ、し尿などの適正処理とともに、公共下水道を整備します。
- 私たちのかけがえのない生命、財産を守るため、災害や交通事故などの未然防止に努めるとともに、大規模災害への対応を含め、消防・防火機能を拡充します。



④



⑤



⑥

安全でうるおいのあるまちづくり

環境・都市整備

Environment · Urban Development



①



②

- ①消防出初め式 The New Year's parade of fire brigades
- ②シートベルト街頭指導
A street demonstration promoting the use of seat belts
- ③公共下水道幹線工事
City construction of the main sewerage line
- ④分別収集 Collection of sorted disposal
- ⑤緑化推進事業 Tree-planting project
- ⑥常滑浄化センター Tokoname Sewage Treatment Plant



③

みんなで創ろう、^{あす}未来の常滑

調和のとれた、まちであるために。

都市基盤

Urban Infrastructure



- ①道路工事 Road works
- ②パソコン学習 Studying a computer
- ③土地区画整理事業 Rezoning Project
- ④名鉄車両 Meitetsu Railway
- ⑤中心市街地 Center of the city



快適で魅力のあるまちづくり

職と住が近接し、交通利便性の高い環境のもとで生活できるなど、快適で魅力のあるまちづくりを進めます。

The convenience and comfort of Tokoname is enhanced by its conveniently located public transportation.

- 名鉄常滑駅周辺に、住宅や商業・業務施設を適正に配置し、中心市街地として再整備します。
- 新しいライフスタイルに対応した多様な住宅地を供給するため、ニュータウンの整備を推進します。
- 新空港の波及効果を最大限に受け止めるため、ウイングタウンを関係機関とともに整備します。
- 新空港と名古屋・三河方面や知多地域とを結ぶ道路・鉄道アクセスの市内経由の確保を要請します。
また、名鉄常滑線の南伸を要請します。
- 周辺都市との多様な交流と連携を促進するため、骨格道路の整備を推進します。
- 高度情報化社会への対応を進めます。



私たちが豊かで、いきいきとした生活を送るため、
活力とにぎわいのあるまちづくりを進めます。

The dynamic strengths of Tokoname lie in its multiple activities.

- 新たな需要の増大を活用した都市型農業の振興を推進します。
- 漁場の埋立による影響を考慮し、資源管理型漁業の振興を推進します。また、ウイングタウンでは、漁業者の意向などを踏まえつつ、観光漁業施設などを関係機関とともに整備します。
- 内陸部に大規模な工業用地を開発整備し、やきものの里の整備や新規産業などを誘致します。
また、ウイングタウンでは、地域産業や新規産業を誘致します。
- 多彩な消費活動を支える魅力ある商業・業務施設を中心市街地とウイングタウンに誘致します。
- まちの自然、歴史、文化などを生かした観光・レクリエーション施設を整備します。
また、ウイングタウンに、コンベンション施設などの国際的な交流施設やレクリエーション施設を誘致します。



③



④



⑤

活力とにぎわいのあるまちづくり

Harmony

世紀を超えて——「歩きはじめた21世紀」

産業・観光

Industry · Sightseeing



①

- ①マリンスポーツ Marine sports
- ②海とふれあうフェスティバル Marine Festival
- ③とこなめ焼卸団地 セラモール Ceramall (retail outlets)
- ④稲刈り Harvesting rice
- ⑤久米南部工業団地 ウイングヒル Winghill (Kume Southern Industrial Area)



②

教育・文化

Education · Culture

私たち一人ひとりが生涯を通して心豊かに充実した生活を送るため、豊かな文化と生きがいのあるまちづくりを進めます。

There are many avenues of education and culture.

豊かな文化と生きがいのあるまちづくり

- 児童、生徒が豊かな心を育み、個性と創造性を伸ばしていくため、学校教育を充実するとともに、国際化、情報化などの社会環境の変化に対応して、教育環境を整備、充実します。
また、高校、高等教育機関を誘致します。
- 自由時間の増大とともに余暇活動の重要性が増加し、生きがいや個性的な生き方を求める傾向が強くなります。生涯にわたった学習・スポーツ活動へのニーズの高まりに応えるため、生涯学習環境を整備、充実します。
- 芸術文化は、豊かな人間性を養い、生活にうるおいを与えてくれます。私たちが気軽に参加し、楽しむことのできる文化施設の充実や文化活動の振興、支援とともに、脈々と受け継がれてきた個性ある伝統文化を継承します。



①

- ①文化祭茶会 Tea Ceremony (Cultural Festival)
- ②ふれあい芸能フェスティバル
Friendly Entertainment Festival
- ③平成席上揮ごう大会 Heisei Calligraphy Meeting
- ④文化活動体験コース
Cultural activities experience course
- ⑤市温水プール水泳教室
Swimming lesson (City Heated Pool)



②



③



④



⑤

地域・国際化

Region · Internationalization

私たちの価値観や意識は時代の流れとともに変化し、地域社会についての意識がより多様化することが予想されるため、市民のアイデンティティ^{※1}を醸成し、誇りとふれあいのあるまちづくりを進めます。

Without losing sight of its historic past and creating new approaches to old problems, Tokoname provides a welcome mat for international people and business.

- 私たち一人ひとりが主体的に地域活動に参加できるよう、ボランティア活動やコミュニティ活動を支援します。
- 国際交流の機会が増大するため、国際感覚豊かな人材の育成や焼き物などの地域資源を活かした交流活動の体制づくりを進めます。
- 女性と男性が協働して社会の発展に貢献し、協生^{※2}して自己実現を図ることを基本に、女性の自立と社会参加を推進します。

※1 アイデンティティとは、主体性、独自性、同一性のことです。

※2 協生とは、男女が協力して生きることです。

誇りとふれあいのあるまちづくり



①



②

- ① フェアウェル集会 Farewell Meeting
- ② 国際交流フェスティバル International Exchange Festival
- ③ 女性セミナー Women's seminar
- ④ ボランティア活動 Volunteer activities
- ⑤ 尾張大野歴史アート再発見 Re-discovery of Owari Ohno Historical Art
- ⑥ 春祭り Spring festival



③



④



⑤



⑥

明日をひらく リーディング・プロジェクト

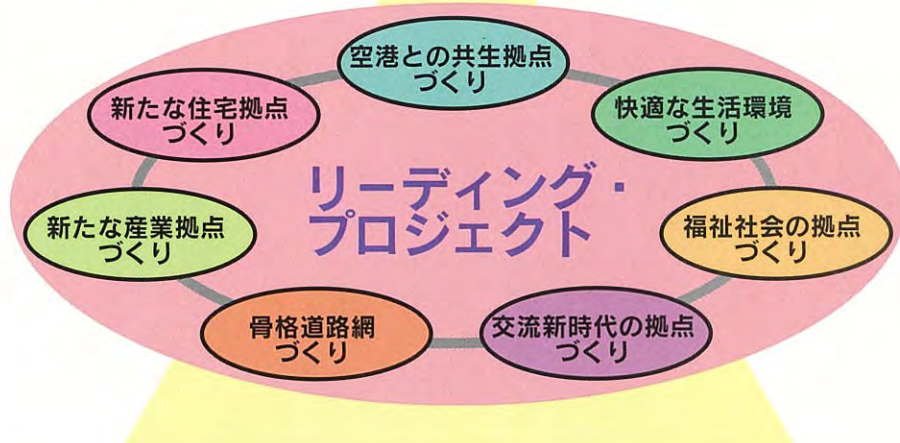
Our Lead Project to Open the Window of Tomorrow

リーディング・プロジェクトとは

『世界に開かれた生活文化都市』の実現に向けた、
常滑市が空港と共生する
新しいまちづくりを進める上での、
7つの事業群で構成された「先駆的事业」をいいます。
国、県等の支援を得ながら、
このプロジェクトを積極的に推進します。

Our lead project is actually the convergence of seven different projects culminating in a more harmonious Tokoname.

世界に開かれた生活文化都市



私たちのまちは、地理的に知多半島西海岸の中央にあり、伊勢湾海上域が扇形に広がり、ちょうどその要に位置しています。また、北に名古屋港、東海道新幹線及び東名・名神高速道路があり、さらに、第二東名・名神高速道路の計画が進められ、リニア中央新幹線も構想されています。新空港とともにこれらのプロジェクトが実現すれば、わたしたちのまちは陸・海・空の高速交通ネットワークの拠点になります。

私たちのまちは、伊勢湾の恵みや美しい自然を大切にしながら海を活用していくため、知多半島各市町をはじめ西三河の各都市や三重県沿岸都市とも広域的な連携を深めていくことが必要になります。

私たちは、こうした時代の潮流や社会構造の変化に的確に対応するとともに、市民福祉の向上とまちの特性を生かした魅力あふれるまちづくりに努めていかなければなりません。

A light rail system is currently under construction and together the new airport. Tokoname will be the hub of rapid transit by land, sea, and sky. Coordinating the sea boundaries between the cities of the Chita Peninsula and Mie prefecture for the protection of natural resources and use in Ise Bay is one of our goals.

空港との共生拠点づくり

空港島対岸部の公有水面を活用して、「ウイングタウン」を関係機関とともに整備し、空港支援施設や空港活用施設を誘致するとともに、名鉄常滑線の南伸や地域産業・レジャー用地等を確保し、本市と空港が共生できる新しい都市拠点の形成をめざします。

また、名鉄常滑駅周辺においては、ウイングタウンとの連続性を考慮した「中心市街地の再整備」を推進し、新しいまちの顔づくりをめざします。



新たな住宅拠点づくり

丘陵地に3カ所（常滑地区、菊屋・松原地区、坂井地区）の「ニュータウン」を農用地との調整を図りながら整備し、豊かな自然を生かした質の高い住宅・宅地を供給します。

また、ウイングタウンや産業拠点団地内にも、空港および関連企業の従業員等のための「住宅団地」を整備し、10万人のまちづくりをめざします。



新たな産業拠点づくり

金山・久米地区に「産業拠点団地」を整備し、地場産業の移転・高度化用地や、やきものの里用地として、また臨空型・先端型産業用地や研究・研修施設用地等として活用します。

ウイングタウンにおいても、臨空型産業や地域産業の用地を確保し、産業構造の複合化を図り、活力あるまちづくりをめざします。



骨格道路網づくり

市内幹線道路は、空港アクセス道路や地域開発と適切な連結を図るとともに、周辺都市との多様な交流と連携が促進できるようラダー（はしご）状に整備を推進します。

整備にあたっては、交通安全施設や緑化を含め、アメニティ性の高い道路網の形成をめざします。



南北軸（6路線）

- ・海岸線
- ・榎戸大高線
- ・知多西部線
- ・小鈴谷河和線
- ・知多半島線
- ・三崎西部線

東西軸（11路線）

- ・大野久米線
- ・岡田蒲池線
- ・鬼崎港線
- ・多屋線
- ・北条向山線
- ・瀬木線
- ・常滑半田線
- ・樽水線
- ・古場武豊線
- ・大谷富貴線
- ・国道247号

交流新時代の拠点づくり

やきもの散歩道に常滑の歴史と文化を生かした「交流拠点施設」を建設するとともに、ウイングタウンには、メッセやコンベンション施設等の「国際的な交流施設」を誘致し、交流人口によるまちの活性化をめざします。



福祉社会の拠点づくり

高度化、多様化する医療需要に応えるため、「市民病院」を移転新築するとともに「救命救急センター」の併設に努めます。

また高齢社会の到来にあわせ、施策展開の拠点となる「総合福祉会館（仮称）」を建設し、温かい心の通う福祉社会の形成をめざします。



快適な生活環境づくり

海岸、河川、ダム等の水辺を自然とのふれあい空間として整備します。ウイングタウンでは、人工海浜や大規模臨海公園の整備を関係機関とともに推進し、豊かな環境の創造をめざします。

また、「公共下水道事業」や「農業集落排水事業」を推進し、快適な生活環境の形成をめざします。



中部国際空港

Central Japan International Airport



Anticipating Central Japan International Airport

Construction of Central Japan International Airport will result in a more prosperous Tokoname as well as increased industry and employment opportunities.

The international airport will have a link to the people, things and information from all over the world. Our city will take on a new role as a "Gate City" in Japan and we must create a suitable city for such an international gateway. We want a city for which we can be very proud of and which will also include our traditional Tokoname culture.

中部国際空港への 取り組み

中部国際空港の建設によって、常滑市の人口増加、産業の活性化、雇用機会の増大を図るとともに、開港後得られる空港関連税収によって、快適でうるおいのあるまちづくりを、将来にわたって行うことが可能になります。

国際空港は、世界中の人・物・情報が交流する交通の結節機能を持ち、私たちのまちは、日本の玄関都市としての役割を担うことになります。

空港のインパクトを最大限に活用しながら、国際空港の玄関都市としてふさわしいまちづくりを進めています。

同時に、多くの先人が築かれた常滑の生活文化を継承し、更に発展させ、市民一人ひとりが誇りを持って暮らすことができるまちにしたいと思っています。

中部国際空港および空港島地域開発用地

中部国際空港は、24時間運用可能な国際空港（約473ha）として、2005年3月の開港を目指して取り組みが進められています。現在の名古屋空港は21世紀初頭には、滑走路処理能力が限界に達すると予想されており、中部国際空港の実現により、国内はもとより海外との航空ネットワークが充実し、日本の玄関として、国際交流拠点の役割の一翼を担うことになります。

また、愛知県企業庁により、空港支援・補完機能の充実を図るため、空港隣接部に空港島地域開発用地（約107ha）が埋立造成されます。

■空港島の面積

区 分	第1期（開港時）	将来構想
空 港	約473ha	約700ha
地域開発	約107ha	約200ha
空港島合計	約580ha	約900ha

空港対岸部地域開発用地

空港対岸部地域開発用地（約123ha）は、愛知県企業庁により埋立造成されます。

空港を高度に活用するとともに、空港を積極的に支援・補完し、空港と地域の共生空間として、賑わいややさしさ、ホスピタリティ、環境創造などの都市空間の形成を図るものです。

常滑市は「とこなめ21世紀計画」において、この空港対岸部（ウイングタウン）を空港との共生拠点と位置づけ、その実現に向けて取り組みを進めています。

■空港対岸部地域開発用地の面積

開 港 時	将来構想
約123ha	約360ha



行財政運営

Administration and Finance

■計画

1. 行政組織

- 新たな行政課題や市民ニーズの多様化に対応し、スクラップ・アンド・ビルドの精神のもと、組織、機構の簡素・合理化を進めます。

また、今後増大することが予想される部課間にまたがる施策については、調整機能を充実し、弾力的な対応を図ります。

2. 事務の合理化・サービス化

- 庁内関係部課との連携強化を図りながら、住民票の写しや税の証明書等を一つの窓口で受けられるよう市民窓口の集約化に努めます。
- 行政事務の効率化や行政サービスの迅速、適切な提供を進めるため、計画的にパソコン等のOA機器を導入するとともに、庁内LANを整備します。
- 施設の管理などについては、民間委託などを推進します。
- 社会教育施設をはじめとする各種公共施設について、他施設との連携などによって管理運営面の充実を進めるとともに、効果的、効率的な施設の設置に努めます。

3. 人事管理

- 適正な定員管理を一層推進するため、今後の行政需要を見極めながら、定員適正化計画を策定し、推進します。
- 空港関連プロジェクトの推進のため、県等からの専門職員の派遣を要請します。
- 新たな時代の流れに対応できるよう、先見性や柔軟性を備えた職員を育成するため、計画的に研修を推進します。



市庁舎 City Hall

4. 競艇事業

- 競艇事業の一層の振興のため、ファンの確保、施設やサービスの充実を推進し、財源の確保に努めます。



とこなめ競艇場 Tokoname Motor-Boat Racing Arena

5. 財政運営

- 効率的な財政運営を進めるため、行政改革を実施し、事務事業の効率化、人件費、物件費、補助費等の節減合理化に努めます。
- 国、県支出金は、その動向を見極め助成制度の効率的な活用を図り、その確保に努めます。
また、市債の運用については、将来的な財政負担を十分考慮しつつ、積極的な運用に努めます。
- 計画性ある財政の運営を進めるための基本的財源である自主財源の確保に努めます。
- 受益者負担は、行政サービスの公平面とその原則のもとに、適正負担に努めます。
- 補助金等は、行政の責任分野、経費負担のあり方、行政効果などを精査し、整理合理化を進めます。
- 空港関連プロジェクトについては、国、県等の財政面での特例支援措置を強く要請します。





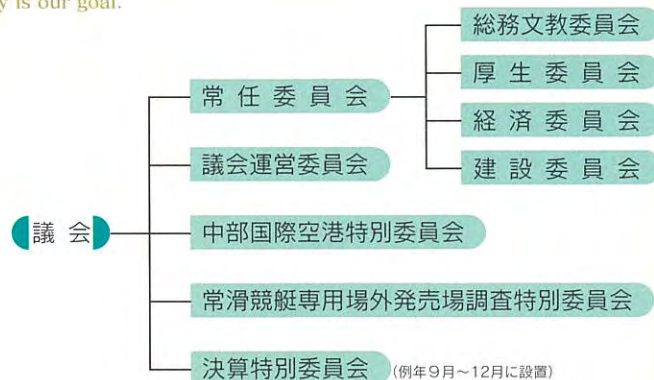
常滑市議会

Tokoname City Assembly

積極的な議会活動の展開へ

市民とともに、明日のまちづくりを考え、
その推進と実現に向け積極的な
議会活動を展開してまいります。
市民の代表者として、血の通った政治・
行政はもとより、民主的かつ開かれた
議会であるとともに、
ルールを重んじ、「公平無私」で
円滑な議会運営に努めております。

Development of positive activities for the promotion of a
better city, together with the entire community is our goal.



常滑市の あゆみ

A Brief History of Tokoname



明治

- 4年 (1871) 額田県に属する
- 5年 (1872) 愛知県に属する
- 22年 (1889) 大野村が町制施行 (10/1)
- 23年 (1890) 常滑村が町制施行 (12/17)
- 29年 (1896) 常滑工業補習学校が創設される (明治33年常滑陶器学校となる)
- 44年 (1911) 枳豆志村が町制施行、西浦町となる (12/10)
- 45年 (1912) 大野・常滑・西浦地区に電灯がつく。
伝馬町～大野町間に電車が開通

大正

- 2年 (1913) 大野町～常滑間に電車が開通
- 7年 (1918) 定期バスが半田～常滑間を運行
- 14年 (1925) 常滑陶器学校が県立になる (昭和10年愛知県常滑工業学校に改称)

昭和

- 5年 (1930) 常滑陶器館が建設される
- 11年 (1936) 常滑実科高等女学校が開校 (昭和17年愛知県常滑高等女学校に改称)
- 19年 (1944) 東南海地震が発生 (12/7)
- 23年 (1948) 常滑工業学校と常滑高等女学校が統合、県立常滑高等学校となる。
学校給食がはじまる。
- 25年 (1950) 名古屋～常滑間に直通電車が開通。
紙本淡彩懸可断臂図が国の重要有形文化財に指定 (8/29)
- 26年 (1951) 鬼崎村が町制施行 (10/17)
- 27年 (1952) 小鈴谷村が町制施行 (7/1)
- 28年 (1953) 常滑競艇が開催される (7/10) 13号台風が市内を襲う



■市制施行後のあゆみ

- 29年 (1954)
 - 4月1日 市制施行 (県下17番目) 常滑町、鬼崎町、西浦町、大野町、三和村が合併
 - 4月26日 初代市長に伊奈長三郎氏が就任
 - 5月1日 広報とこなめ 第1号発刊
- 30年 (1955)
 - 3月27日 二代市長に滝田次郎氏が就任
 - 6月1日 市章を制定
- 31年 (1956)
 - 4月1日 各地区消防団が統合
- 32年 (1957)
 - 3月31日 小鈴谷町の一部 (大谷、小鈴谷、広目、坂井地区) が常滑市に合併
 - 9月1日 国民健康保険事業を開始
- 33年 (1958)
 - 1月15日 全市統一成人式を開催
 - 9月1日 三和、大野中学校を統合、青海中学校を設立
- 34年 (1959)
 - 3月27日 三代市長に久田慶三氏が就任
 - 5月1日 市民病院が開院
 - 8月9日 市営火葬場の竣工により、市内各旧火葬場を廃止
 - 9月26日 伊勢湾台風で大被害
- 35年 (1960)
 - 4月1日 三和東、三和南小学校を統合し、三和小学校を設立。大野、三和西小学校を統合し、大野小学校を設立
- 36年 (1961)
 - 6月25日 愛知用水が通水
 - 7月24日 中部知多衛生組合が発足 (し尿処理)
 - 10月10日 市立陶芸研究所竣工
- 37年 (1962)
 - 2月20日 県営愛知用水上水道による給水を開始
 - 9月11日 常滑武豊衛生組合が発足 (ごみ処理)
- 38年 (1963)
 - 4月1日 西浦、小鈴谷中学校を統合、南陵中学校を設立
 - 11月12日 常滑音頭、常滑小唄を発表
- 39年 (1964)
 - 11月2日 市制10周年記念式典
- 40年 (1965)
 - 5月26日 消防庁舎竣工
- 41年 (1966)
 - 10月15日 市民体育会館 (現 市民アリーナ) 竣工

- 42年 (1967)
9月11日 第1回常滑焼大見本市を開催
- 43年 (1968)
11月1日 県立常滑窯業技術センター竣工
- 44年 (1969)
4月16日 市庁舎竣工
- 45年 (1970)
3月15日 大阪万国博に常滑焼が参加
10月1日 市立図書館竣工
- 46年 (1971)
3月31日 市立養護老人ホーム竣工
- 47年 (1972)
6月12日 名誉市民に伊奈長三郎氏を決定
7月8日 第3回パロリス国際陶芸展で常滑焼に名誉大賞
- 48年 (1973)
4月2日 常滑警察署、常滑商工会議所が発足
5月7日 農村基盤総合整備パイロット事業着工
- 49年 (1974)
3月18日 やきもの散歩道を設定
4月5日 市制施行20周年記念式典 市の木「クロマツ」を発表
7月25日 集中豪雨が市内を襲う
- 50年 (1975)
4月5日 県立常滑北高等学校が開校
9月3日 常滑の陶器の生産用具及び製品が国の重要有形民俗文化財に指定
- 51年 (1976)
2月1日 大野、小倉、青海団地、西之口、蒲池地域に新町名地番を設定
9月12日 17号台風による集中豪雨が市内を襲う
- 52年 (1977)
2月1日 榎戸、多屋地域に新町名地番を設定
- 53年 (1978)
3月8日 市総合計画を決定
4月1日 市保健センター開設
8月1日 旧常滑地域に新町名地番を設定
- 54年 (1979)
4月30日 四代市長に庭瀬健太郎氏が就任
6月13日 名誉市民に久田慶三氏を決定
8月1日 樽水、西阿野、熊野、古場、苅屋地域に新町名地番を設定
- 55年 (1980)
4月1日 市内北部(矢田・久米・前山地区)に無料バスを運行
4月4日 市立常滑小学校が常滑西・常滑東に分割開校
4月23日 民俗資料館竣工
- 
- 56年 (1981)
2月7日 市の花「サザンカ」を発表
4月1日 知多半島横断道路が開通
- 57年 (1982)
4月1日 南陵公民館開館
4月21日 登窯が国の重要民俗文化財に指定
- 58年 (1983)
4月1日 青海公民館開館
11月1日 市民文化会館、中央公民館が開館
- 59年 (1984)
4月2日 市制施行30周年記念式典
- 60年 (1985)
5月30日 第3セクター方式「常滑駅ビル株式会社」が設立
6月3日 市民病院で人工透析を開始
- 61年 (1986)
3月24日 第2次市総合計画を決定
3月31日 久米工業団地(18.5ha)が完成
- 62年 (1987)
1月1日 市内5カ所の出張所を廃止、3カ所(青海・鬼崎・南陵)の連絡所を開設
4月30日 五代市長に中村克巳氏が就任
8月13日 名誉市民に谷川徹三氏、岩田式夫氏、平岩外四氏、盛田昭夫氏を決定
- 63年 (1988)
3月29日 広目地区、坂井地区集落排水処理場が完成
4月1日 鬼崎公民館開館

平成

- 元年 (1989)
1月17日 常滑市行政改革大綱を決定
3月22日 3県1市(愛知県・三重県・岐阜県・名古屋市)の首長懇談会で新空港候補地を「伊勢湾東部の海上(常滑沖)」に合意
7月15日 世界デザイン博覧会に陶製巨大モニュメント「フューチャードリーム」出展
- 2年 (1990)
2月28日 南陵新体育館(サザンアリーナ)竣工
9月28日 大谷工業団地(21.4ha)が完成
- 3年 (1991)
1月24日 知多半島道路に半田常滑インターチェンジ新設
3月22日 常滑市国土利用計画を議決
4月15日 特別養護老人ホーム「むらさき野苑」開所
7月1日 ティサービスセンターオープン
10月1日 とこなめニューテレビ開局
12月2日 六代市長に石橋誠晃氏が就任
- 4年 (1992)
10月1日 中学校にパソコン導入開始
- 5年 (1993)
3月3日 とこなめ焼却団地「セラモール」がオープン
3月25日 常滑市体育館竣工
4月1日 常滑市厚生事業団設立
4月27日 小脇公園オープン
6月10日 絹本著色仏涅槃図が国の重要有形文化財に指定
7月1日 大曽更生園、梶間授産所開所
- 6年 (1994)
3月22日 常滑市老人保健福祉計画策定
4月1日 市制40周年記念式典
5月14日 '94 日本六古窯サミット・フォーラム開催
10月22日 公共下水道工事着手
10月30日 第49回国民体育大会レスリング競技開催(〜11/2)
- 7年 (1995)
3月5日 ふるさと常滑の歌「この街が好きだから」を発表
3月25日 登窯広場竣工
3月29日 市議会議員定数を28人から26人に改正
- 8年 (1996)
3月21日 第3次常滑市総合計画「とこなめ21世紀計画」を議決
4月1日 訪問看護ステーションとこなめ開所
- 9年 (1997)
3月20日 常滑国際交流協会設立
3月31日 常滑市新行政改革大綱を決定
7月1日 常滑市在宅介護支援センターを開所
11月1日 インターネットホームページ開設
- 10年 (1998)
3月30日 久米南部工業団地 ウイングヒル(11.9ha)完成
6月8日 工芸技術の部・陶芸常滑焼(急須)保持者三代山田常山氏が国重要無形文化財保持者に認定
- 11年 (1999)
6月17日 中部国際空港連絡鉄道株式会社設立
8月10日 国道247号県道大谷富貴線まで開通(1.4km)
- 12年 (2000)
4月1日 介護保険事業開始
4月21日 やきもの散歩道内に廻船問屋 瀧田家 開館



- 5月11日 常滑市温水プール竣工
8月1日 中部国際空港現地着工
9月18日 空港島及び空港対岸部地域開発用地現地着工



■市の木・クロマツ■

City tree "Japanese black pine"

緑を育て、緑を守り、
緑豊かな住みよい都市づくりのために、
昭和49年3月、市制20周年を記念して、
市の木に「クロマツ」が選定されました。
クロマツは、当地方で山林、防風林、
庭木等として幅広く活用され、
親しまれており、
常滑市にふさわしい樹木です。

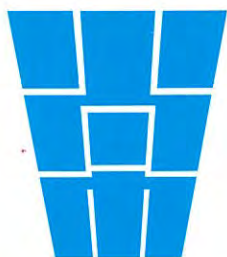
緑と花の溢れるまちに。



■市の花・サザンカ■

City flower "Sasanqua"

緑と花のある美しいまちづくりのために、
昭和56年2月、市の花に「サザンカ」が
選定されました。
サザンカは、花の少ない冬期に咲き、
花期は長く、強い季節風や潮風にも
耐える強健な花木として、庭木、
生け垣等と用途も広く、
多くの人に親しまれ、
常滑市にふさわしい花木です。



■市章■

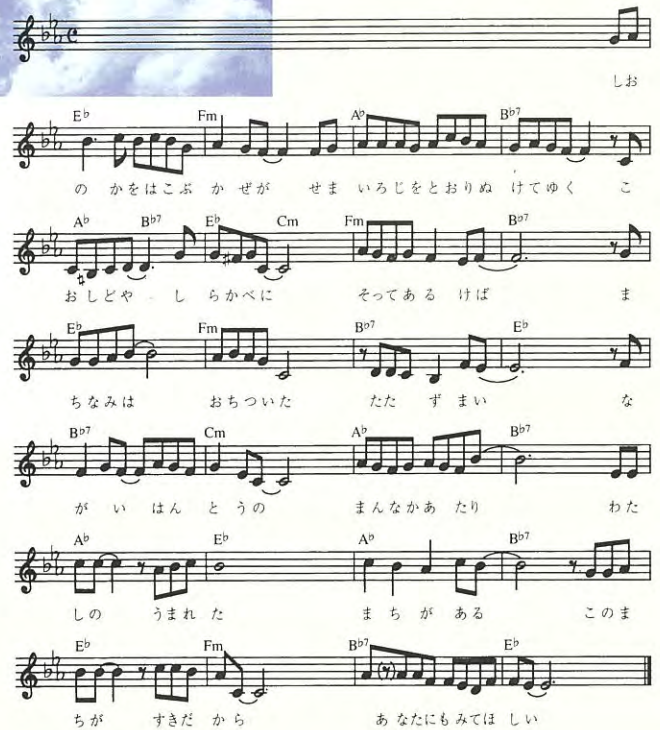
City symbol

常滑市の「常」の字を、
画家の杉本健吉氏が
図案化したもので、
市民の団結と市勢の発展が
表されています。(昭和30年6月制定)

この街が好きだから

1. 潮の香を はこぶ風が
狭い路地を 通りぬけてゆく
格子戸や白壁に 沿って歩けば
町並はおちついた たたずまい
長い半島の 真ん中あたり
わたしの生まれた 街がある
この街が 好きだから
あなたにも 見てほしい
2. タヤけの 空に映える
古いレンガ造りの 煙突
登り窯 はじける炎 ゆめを受け継ぐ
とこなめは焼き物の 土の里
長い半島の 真ん中あたり
わたしの住んでる 街がある
この街が 好きだから
あなたと 歩きたい
3. 道をゆく ひとの笑顔
それはこころ 愛のまなざしよ
港にも工場にも そして駅にも
しあわせな人生の ひとこまが
長い半島の 真ん中あたり
わたしの生きてる 街がある
この街が 好きだから
あなたと 暮らしたい

作詞／熊崎輝日古
補作詞／池田充男
作曲／松原さとし
歌／芹 洋子



■ 名誉市民 ■ Honor Citizens

Chozaburo-Ina

い な ちようぶろう 昭和47年6月12日名誉市民
故 伊奈長三郎氏 明治23年3月20日生（常滑市奥条）
名陶工伊奈長三郎氏の六代目にあたり、近代常滑窯業の発展と開発に尽力され、市制施行、市勢の進展に偉大な貢献をされた。常滑町議員、常滑町長を歴任、初代常滑市長に就任。市立陶芸研究所建設に寄与された。
昭和55年10月10日逝世 享年90才

Keizo-Hisada

ひ さ だ けいぞう 昭和54年6月13日名誉市民
故 久田慶三氏 明治30年1月20日生（常滑市阿野町）
西浦町議員、西浦町長、常滑市参事、常滑市助役等の公職を歴任し、昭和34年常滑市長に就任以来5期20年にわたり、市行政のトップとして偉大な功績を残された。昭和54年、交通安全最高栄誉の「緑十字金章」を受章された。
昭和58年7月29日逝世 享年86才

Tetsuzo-Tanigawa

た に が わ てつぞう 昭和62年8月13日名誉市民
故 谷川徹三氏 明治28年5月26日生（旧常滑町出身）
京都帝国大学文学部哲学科卒業後、哲学者、文学者として活躍。大学教育の発展や日本文化の保存、研究に貢献された。市立図書館の「谷川文庫」や長三賞陶芸展の審査委員長などを通じて、常滑市の文化の発展に大きな足跡を残された。
平成元年9月27日逝世 享年94才

Kazuo-Iwata

い わ た か ず お 昭和62年8月13日名誉市民
故 岩田式夫氏 明治43年2月18日生（旧西浦町出身）
産業、経済界において偉大な功績をあげ、国内はもとより国際的にも広く活躍された。元(株)東芝相談役
平成4年10月22日逝世 享年82才

Akio-Morita

も り た あ き お 昭和62年8月13日名誉市民
故 盛田昭夫氏 大正10年1月26日生（旧小鈴谷村出身）
日本を代表する国際的な経済人として活躍し、数々の功績を残された。また、海外留学の振興に寄与し、人材育成にも尽力された。
ソニー株式会社名誉会長
平成11年10月3日逝世 享年78才

Gaishi-Hiraiwa

ひ ら い わ が い し 昭和62年8月13日名誉市民
平岩外四氏 大正3年8月31日生（旧常滑町出身）
現職 東京電力株式会社相談役、日本工業倶楽部理事長、経済団体連合会名誉会長、宮内庁参与 東京都大田区在住

私たちのまちは

「世界に開かれた生活文化都市」

をめざしています

常滑市市勢要覧2001

Tokoname city guide

発行

常滑市企画部秘書広報課

〒479-8610 愛知県常滑市新開町4-1

TEL.0569-35-5111 FAX.0569-35-4329

HomePage <http://www.city.tokoname.aichi.jp/>

E-mail h-koho@city.tokoname.aichi.jp

発行日

平成13年3月

